

認定発達しょうがいアドバイザー 認定発達しょうがい療育士 資格にチャレンジする!!

「発達しょうがい」とは、自分の個性を活かせず、発達課題を持つと周りから認知されたり、自ら認知してストレス症*を持っている状態です。周りの人が当事者に「発達しょうがい」と感じている問題行動のほとんどはストレス症状*です。「いなくなってくればどんなに楽か!」と一瞬でも思う家族を含めた周りのひとが放つ顔や声の表情信号に対して当事者が反応している症状です。周りが本音で「そのままでいいよ、大丈夫だよ、見守っているよ、大好きだよ」という笑顔や穏やかな顔や声の表情信号になれば消えてしまう症状です。

本講座では、「発達しょうがい」について理解し、当事者がもつストレス症*を消去し、周りのひとが放つ「いなくなってくればどんなに楽か!」そして、顔や声の表情信号を消去し、「そのままでいいよ、大丈夫だよ」という信号に変える**情緒安定化技術**を学びます。

一般に、空気を読めないとか、ミスが多い、多動などや知的障害といわれると、いわゆる「発達障害」と認知されますが、そこにはただ才能豊かな個性的な人間がいるというだけなのです。ミスが多いとは、新発想、新学習のできる創造力を生み出すことができる発明者、営業マン、企業家、芸術家となる才能です。また空気が読めないのは自分の世界に没頭できる職人、研究開発者、アーティストに向く才能があります。「発達しょうがい」と称される個性はアート、クラフト、科学、家事、タレント、演劇など色々な場面に生かすことができます。

本講座では、**脳科学からみた自閉スペクトラム症、AHD症、限定性学習症**などを学び、**その個性のあり方を科学的に学びます。**



反対に周りが「普通はこうでしょう」とか「こうあるべきだ」と言い、そして本人もその普通になろうと、個性を犠牲にした生き方をした結果、周りも、自分もストレスに悩まされるようになるのです。個性を活かせる穏やかさをもち、怖くても自分の直感力を信じ、物事を決められる周りのサポートがあれば、個性的で幸せな生き方を手にすることができます。

本講座では、個性を犠牲にする生き方から**本来の穏やかな自己に自己成長する行動変容技術**を学びます。

*ストレス症

情緒不安定、イライラ、爆発、反発、暴力行為、パーソナリティ障害、冷え性、過食嘔吐、希死願望、距離感が分からない、人間関係障害、学習症、自殺願望、うつ病、リストカット、全体が見れないなど